

令和8年度仏陸軍との実動訓練(ブリュネ・タカモリ26)について(1/3)

東北方防衛部

ブリュネ・タカモリ: Brunet Takamori

【訓練の目的】

仏陸軍との実動訓練を実施し、**対ゲリラ・コマンドウ作戦**に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上を図るとともに、**陸自と仏陸軍との相互理解・信頼関係の促進を図る。**

【本訓練の意義】

- 仏陸軍が世界でも有数の優れた能力と豊富な経験を有している対ゲリラ・コマンドウ作戦に係る分野での共同訓練による陸上自衛隊の戦術技量の向上
- 「自由で開かれたインド太平洋」のビジョンを共有する仏と、実動での共同訓練を実施することにより、陸上自衛隊と仏陸軍との相互理解・信頼関係の促進

【本訓練の沿革】

ブリュネ・タカモリは、日仏両政府の合意に基づき、**令和5年度に開始**されました。令和5年度は仏領ニューカレドニアで実施しており、**今回で4回目(自衛隊と仏陸軍との2回目の日本国内における二国間共同訓練)**となります。

【実施期間】

令和8年8月25日(火)から9月5日(土)(訓練準備及び撤収の期間を除く。)の予定です。
事前調整のため、仏陸軍の先遣隊については8月23日(日)に入国する予定です。

【実施場所】

王城寺原演習場(宮城県)を使用する予定です。

【訓練規模】

陸上自衛隊は、山形県東根市に所在する**第20普通科連隊等の約120名**が参加予定です。
仏陸軍は、ニューカレドニアヌメアに所在する**ニューカレドニア海兵歩兵連隊の約40名**が参加予定です。
また、**英の在京武官**1名が本訓練を研修予定です。

令和8年度仏陸軍との実動訓練(ブリュネ・タカモリ26)について(2/3)

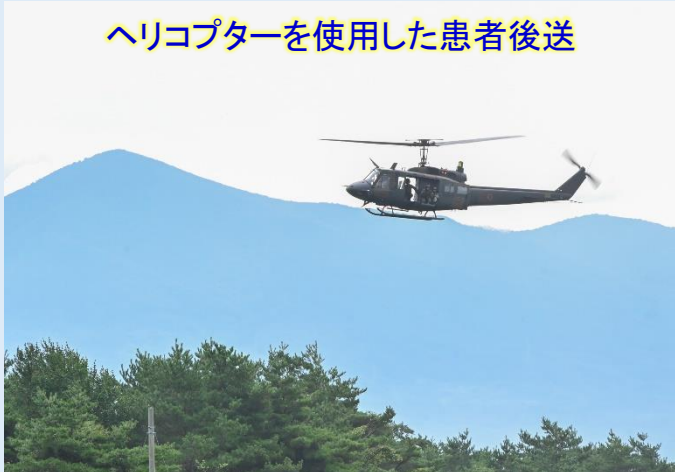
【訓練内容】



戦闘射撃



戦闘射撃



ヘリコプターを使用した患者後送



敵ゲリラ・コマンドウの搜索・撃滅

※ 写真は他の訓練等のものを使用

- 対ゲリラ・コマンドウ作戦を想定した日仏共同による実動訓練において、作戦準備～**重要防護施設の防護～敵ゲリラ・コマンドウの搜索・撃滅**を一連の状況下で訓練するとともに、ドローン対処の訓練を併せて実施します。
- なお、仏陸軍は、**小銃等の小火器、無線機等の通信器材、ドローンを仏から持ち込む予定ですが、車両やヘリ等の装備品の持ち込みはありません。**また、**仏陸軍が日本国内においてドローンを使用するのは2回目**となります。
- また、日仏による小銃等の**実弾射撃**及び日側のみの**迫撃砲射撃**を実施します。

令和8年度仏陸軍との実動訓練(ブリュネ・タカモリ26)について(3/3)

【演習の細部実施時期及び場所】

8月25日(火)～9月5日(土)までの間、宮城県の演習場において訓練を実施する予定です。(演習場外の訓練は予定しておりません。文化研修の際は、民間道路を使用する予定です。)なお、仏陸軍は8月23日(日)、24日(月)に入国して宮城県の王城寺原演習場へ移動します。訓練終了後、9月9日(水)には仏陸軍の全員が日本出国を完了する予定です。

夜間及び土日を含む演習となりますが、地域の皆様への影響が最小限となるよう最大限に配慮いたします。



宮城県 王城寺原演習場

機能別訓練
総合訓練

【参加人数】陸 自:約120名
仏陸軍:約40名

月	8									9								
日	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
場所	仏陸軍入国	移動	王城寺原演習場						文化研修	王城寺原演習場				文化研修	整備		仏陸軍帰国	